

ペン習字講座（ペンポイント）のご報告

お子様よりお聞きかと思いますが、今年度より小6から中3までの4学年には授業開始後5分間に、ペンポイントという通信講座の「かきかた」指導をしております。今の塾生に必要な力である「見る力」と「集中力」の育成が目的です。内容をご紹介します。

ペンポイントのお手本は、一つの文字が16分割された枠の中に書かれています。さらにそこには別の線や矢印が書き加えられ、線の角度、全体の字形、縦画、横画、斜線の位置等が明確にされています。大人が見れば頭が痛くなるほど指示線の多いお手本ですが、このお手本とおりに、書き始めの場所、通っていくところ、書き終わりの場所を守れば、お手本と寸分たがわぬ文字を書くことが可能なはずなのです。これはもう、文字の上手、下手ではありません。どれだけ正確に記号として書き写せるか、です。見る力と集中力がなければできません。是非、保護者の方にもお手本とお子さんの作品を見ていただきたいと思えます。

エゴを捨て、目の前の文字の中に自分の全てを落とし込む—これがこの5分間の目標です。100%の力で見て集中する訓練としてやらせていただいていますので、事後報告で申し訳ありませんが、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。なお、通信講座料の一部と材料費全額は塾が負担させていただいています。ご不明な点等ございましたらなんなりとお尋ねください。また、小5には前段階として「点描写」を練習させています。

見る力と集中力は全ての勉強の基本です。この基本の力が不足していると、漢字、英単語等を正確に書き写せないばかりか、問題文を読み間違えたり数式を見間違えたりと、思考力や記憶力とは関係のないところでの失敗をくり返すこととなります。思い当たる人も多いのではないのでしょうか。“わかっているのに間違えた”—よく聞く言葉です。大人は「よく見なさい。」と注意しますが、子どもはなかなか直りません。それもそのはず。「よく見える」ようになるためには「見る」練習をする必要があったのです。5分間ですが練習を続けて「見る力」をアップさせましょう。うれしいことにこの「かきかた」を続けていると、国語の読解力が上がる、絵やピアノが上手になるなどのおまけもついてくることが報告されています。

さらにこのペンポイントは、そのお手本とおりに練習して添削先生の許可がいただけると、「文部科学省硬筆書写検定」を受験することもできます(受験料は別途必要・希望者のみ)。一般の書道教室で段、級を取得しても「履歴書」に書くことはできませんが、ここで取得したものであれば書くことができます。一生持ち続けられる資格で宝になります。高校受験の内申書にも書いていただけますのでしっかり練習して目指してほしいと思えます。